

入塾案内

募集
期間

令和6年

3月1日～5月10日



基礎体験コース (1年間)

	経営実践コース (1年間)	基礎体験コース (1年間)
研修期間	令和6年7月～令和7年6月	令和6年6月～令和7年5月
研修内容	野菜栽培技術等の実践研修	ブログを通じての農業基礎研修
入塾申込手 続 き	履歴書、入塾申込書、研修希望内容書に就農希望市町村の意見を付して、農業総合研修センターへご提出ください。(3×2.4cmの写真を同封) ※就農希望市町村が未定の者は宮崎県新規就農相談センター(公益社団法人宮崎県農業振興公社内)の意見を付してください。	申込書に必要事項を記入の上、農業総合研修センターへ郵送・FAXにてお申し込み下さい。 ※申込書は「みやざき農業実践塾」のHP(http://lupinus-p.jp/m_juku/)よりダウンロードできます。
研修費	1年間 48,000円 半年間 24,000円	1年間 2,000円
募集人数	14名程度	20名程度

見学もできます。まずはお電話ください!



みやざき農業実践塾 検索

宮崎県立農業大学校 農業総合研修センター

(指定管理者 学校法人 宮崎総合学院)

〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田 5732 TEL:0983-23-7447 FAX:0983-21-1744



宮崎で農業がしたい!
その夢とやる気を応援します。

令和5年度塾生(24期生)

宮崎県立農業大学校 農業総合研修センター

(指定管理者:学校法人 宮崎総合学院)

みやざき 農業実践塾

宮崎で就農の意志が固まっている方は

経営実践コース

宮崎県内で新たに就農を目指す人を対象に、農業大学校の栽培施設(ハウス)や露地ほ場等を利用して、就農に必要な野菜栽培についての実践的な知識・技術の学修を行います。これまでに 200 名以上が卒塾し、宮崎の農業の担い手として活躍しています！

研修期間: 1年間

定 員: 14名程度

1年間の流れ (栽培品目により異なります)



●まずは基礎からしっかりと!

7月～8月にかけて午前中は講義を行い、土づくりや病害虫防除、作物ごとの栽培方法など、専門的な知識を学びます。午後は合同実習を行い、農薬散布や農業機械の使用方法など農業の基本となる部分の修得を目指します。

また、外部講師を招いて園芸施設や経営資金、農業共済や加温機管理等の講習も実施しています。



初心者でも大丈夫!

合同実習では草刈り機の使い方からトラクターや運搬車の乗り方、農薬の使用方法などを5人の指導員が懇切丁寧に指導します。

マーケティングも実践

収穫した作物は、市場や直売所に自らの手で出荷します。出荷基準に基づいた品質管理や、販売方法の工夫なども自分で考え実践していきます。



●自分で考えて実践!

9月からは実践研修に入ります。実践塾では県の栽培指針に基づいた栽培方法で、宮崎で安定した収量を得るために研修を行っています。各自割り当てられたハウスやほ場において播種から収穫、出荷調整など実際の管理作業を5月まで行います。基本を踏まえつつ、自ら考え判断、行動することにより実践的に学ぶことができます。

●充実の研修内容

様々な視察研修

育苗施設や市場、農業試験場などを視察し、宮崎の農業について知見を深めます。また、卒塾生や篤農家の視察も行っています。



就農・研修支援も充実

農業大学校の就農コーディネーターが、農地の確保や就農計画のサポートを行います。また、遠方からの通塾が難しい方は研修センター内にある宿泊施設も利用可能です。



農業に興味はあるけど…という方は

基礎体験コース



会員制のブログにおいて、県の専門技術員が作成したテキストを月2～3回のペースで掲載します。土壤肥料や育苗、病害虫、各作物栽培についてなど農業の基礎的な知識を在宅で修得できます。また、年4回実習を行っており、より実践的な学修ができます。農業に興味があるが何から取り組めば良いか分からず、そんな方におすすめのコースです。

研修期間: 1年間

定 員: 20名程度

●塾生の声(R5年度研修生)



状地 貴裕

栽培作物 にら



「みやざき農業実践塾」では、塾生一人ひとりに割り当てられたハウスで、自らの研修品目について栽培管理を学びます。4アールの小規模なハウスですが、植物とじっくり向き合えることができ、先生方の熱心な指導のもと、確かな技術が身についているを感じています。また、他の研修機関が対応していない品目の研修生も柔軟に受け入れていることや、露地野菜をはじめ、塾で栽培する多様な品目に触れることができるのも魅力です。

親元就農のため、もともと農作業の経験があった私でしたが、実践塾で宮崎県の標準的な栽培方法を学ぶ中で、作業の意味を再確認できたり、我が家農業の良い点や改善すべき点が分かたり、より良いやり方が見つかったりと、日々、意義深い研修ができます。

農業は、人が生きていく上で欠かせない「食」を担うかけがえのない仕事です。そんな仕事に就くことに誇りを持ち、就農後は、次の世代がやりたいと思ってくれるような魅力的な農業を展開していきたいです。



小谷 晃史

栽培作物 きゅうり



私の前職は建築業の職人です。実家の家庭菜園も手伝ったことがない私が農業を志すことになるとは数年前まで思っていませんでした。きっかけは3年前、兄が農業を始めたことです。兄を手伝っていく中で、いろんな農家さんと関わるようになり、次第に自分も農業を始めてみたいと思うようになりました。

入塾してから一番驚いたことは手厚い就農支援です。就農コーディネーターが県内の空きハウスや土地の情報をもとに現地に連れて行ってくれたり、農業委員の方や地主さんとの架け橋になってくれます。自分も無事、就農地が見つかり安心して就農に向かうことができています。栽培の面においては、4aのハウスで実際に栽培管理を行っていきます。先生方に基本的な栽培方法を教えてもらいつつ、個々のやってみたいことも相談しながら挑戦させてもらっています。

実践塾は県内各地に就農の実績があるので、就農地も柔軟に対応できるのが強みだと思います。

